

水素燃料エンジンバスに試乗する家族連れ



環境に優しく水素バス

室蘭で市民向けに試乗会

【室蘭】東京都市大（旧武蔵工大）が開発した、有害な排ガスをほとんど排出しない水素燃料エンジンバスの性能試験を行う。

公開試乗会が31日、室蘭市内で開かれた。環境に優しい次世代バスの乗り心地を市民らが確かめた。
このバスは、同大が包括連携協定を結ぶ室

にすると約200キロ走ることなどを説明。降車後、マフラーに手をかざし、においがないことも確認した。

家族3人で乗った室蘭市祝津町の室橋知里さん（33）は「見た目や振動も通常のバスと変わらない。クリーンな乗り物として普及してほしい」と話した。

1日も午後1時から室蘭市青少年科学館（本町2）で試乗やバスの仕組みを紹介したパネル展示を行う。

（石丸厚子）

大型商業施設モルエ中島では、国道37号など約2キロを回るコースに計55人が試乗。東京都市大の学生が、排出するのは大半が水蒸気であることや、満タン

北海道新聞社許諾 DO911-1005-00006058

無断転載禁止 著作権は北海道新聞社に帰属します
転載承認済み

東京都市大学グループ
学校法人 五島育英会